

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名			
08407	図書館管理運営事業		教育委員会	文化係(図書館)	林一昭	吉澤志津江			
				平成 22 年 5 月 26 日	連絡先(内線)	2550			
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)					
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別	1052	図書館管理運営事業			
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別		#N/A			
	章		(コード選択)	5章	まなび合う社会の創造				
	節		(コード選択)	1節	生涯学び続けられる環境をつくる				
	項[基本施策]		(コード選択)	513	文化活動・社会教育活動の促進				
主な取り組み		(コード選択)	5134	図書館サービスの充実					
関連する計画等への位置づけ		<input checked="" type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input type="checkbox"/>	その他
事務期間		(開始)	T10 年度 ~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民、辰野町在勤・在学者、辰野図書館の資料を利用したい方

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

住民の皆さんが幸せで満ち足りた日々を過せる。資料や情報を求めて来館した方がすばやく的確に得られるようにする。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 地域の情報拠点として情報を蓄積保管する。
- 読書施設として、静謐な環境を提供できるよう館内整備を行う。
- 通常の貸出業務はもちろん、リクエスト、予約、レファレンスに積極的に対応する。
- サービス充実などのために、ボランティアの参加をお願いする。

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)	
①	指標名	蔵書数	点	59,500	63,469	60,000		60,000
	説明	所蔵する資料の数	目標値設定の根拠	図書館のキャパシティにあった資料数の保持				
②	指標名	リクエスト、予約数	件	623	1,750	1,500		1,500
	説明	リクエスト、予約数	目標値設定の根拠	H21年度数値から推定して				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)	
①	指標名	利用者数	人	18,389	20,344	21,000		21,000
	説明	図書館資料利用者数	目標値設定の根拠	H21年度数値から推定して(計画値は入館者数から利用者数に変更)				
②	指標名	貸出冊数	点	59,849	69,365	70,000		70,000
	説明	図書館資料貸出冊数	目標値設定の根拠	H21年度数値から推定して				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法		<input checked="" type="checkbox"/>	決算書・予算書等に記載の数字	<input type="checkbox"/>	按分計算による算定																	
○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度見込み	平成23年度見込み																
			26,203	31,523	28,055	28,055																
対前年比		%		120.3	89	100																
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			0	0	0	0																
B) 一般財源(税金)			26,203	31,523	28,055	28,055																
①事業費		(千円)	15,349	12,155	14,445	14,445																
対前年比		%		79.2	118.8	100																
②人件費の概算		(千円)	10,854	19,368	13,610	13,610																
対前年比		%		178.4	70.3	100																
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費											
			H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23										
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00	2.00	1.00	1.00	8,533	14,733	8,418	8,418
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									5.00	6.00	6.00	1.00	5.00	6.00	6.00	2,321	4,635	5,192	5,192

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 広域および学校図書館とのネットワーク構築 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない カウンターに寄せられる声を聞く、図書館協議会、絵本講座、図書館ボランティアの構成員に日常的にうかがう。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

平成20年度 住民基本台帳カードに図書館蔵書貸出システム機能を付加しました。
伊那市のサーバーを利用したシステム改善を実施しました。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

22年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

地域の情報源として、図書資料の充実を図り、利用しやすい館内整備に努める。

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択